

結婚式をアップデートする銘品を見つけました！

# 地元のいいモノ、 知ってるといいコト

モノづくりへの思いを知れば、地元が誇らしく、自慢したいと思える銘品があふれていることに気がきます。  
結婚式をより印象深くアップデートする銘品を紹介します。

構成・文/松尾 幸 撮影/竹村陽子 イラスト/別所麻衣 D/mashroom design  
※掲載されている情報は2023年6月時点のものです。

ノンアルコールの  
乾杯酒にオススメ♡



仕込み水として300年の  
歴史を持つ名水を使用

自然豊かな能勢の名水が  
そのままジンジャーエールに

カウンターやテーブルに  
そのまま置いても注目度◎

ミネラルを豊富に含んだ天然水を使用。しょうがの風味はしっかり、後味はすっきり。能勢ジンジャーエール(250ml)1本160円。  
能勢酒造株式会社  
URL: <https://nosemizu.com/>

「能勢酒造」があるのは、大阪府の北端に位置する自然豊かな能勢町吉野地区。名前の通り、もともとは日本酒の蔵元で、仕込み水として使用されてきた名水「桜川」が、この「能勢ジンジャーエール」にも惜しみなく使用されている。地元のユズを使った地サイダーなど、個性あふれる炭酸飲料の商品開発を一手に手掛けているのは、代表取締役社長の子安文士さん。環境への負荷が少ないリターナブル瓶への切り替えや、地元の自然環境を守る取り組みで注目されることも多い。シリカなどのミネラル成分が豊富な天然水を使用したジンジャーエールは、キリッと爽やかなしょうが風味に、すっきりとした後味が特徴。もともとバーのために開発されただけに、そのまま飲んでおいしいだけでなく、お酒との相性も抜群なのだとか。ラベルの黒もハンサムなたたずまいで、カウンターに置いてもしっかり地元のらしさをアピールできそうです。

商品開発を  
私が担当  
しています！



能勢酒造  
代表取締役社長  
子安文士さん

私らしさ結婚式でどう出す？



ノンアルコールドリンクにも  
地元のいいモノを取り入れた  
ノンアルコールの飲物は種類が限定されがち。  
地元感を取り入れて見た目も楽しく、ボトル  
でそのまま乾杯するのもオススメ！



北郡連山の釈迦ヶ  
岳の山麓。この地  
で300年以上、名  
水「桜川」を守り、  
使用している



人気の地サイダー。  
「大阪いちごサイ  
ダー」はコロナ下  
の生産者支援で生  
まれたヒット商品

もっと知りたい  
ステキポイント